



1月12日(日)

成人の日駅伝 **それぞれの挑戦**

挑戦した70名以上の生徒たち…

本校では毎年12月の初め頃から駅伝の練習をスタートします。今年も陸上部をはじめ、野球部、サッカー部、バスケ部、バレー部などから、70名以上の生徒が毎朝のランニングに参加しました。毎朝タイム計測をしてしのぎを削り、ようやく冬休み前に登録選手が決まります。その結果、今年は陸上・野球・サッカー・バスケを中心とした9名が登録選手となりました。最終的にその中の6名が当日6つの区間を走る選手となるのですが、今年は6区間のうちの4区間を陸上部の1年生が占めました。

4名とも体はまだ小さく、いかにも頼りなげに見えますが、1区を走った桶田悠生君(1-7)が区間3位の快走を見せるなど、十分力を発揮し、その後、2区のバスケ部大森優人君(2-9)へと渡されたタスキは3区の野球部中村朝日君(2-1)へと託されて再び1年生の4区北澤励翔君(1-3)へ、そして5区山崎暖生君(1-2)が6区のアンカー矢路川優介君(1-6)へとタスキをつなぎ、最終順位は27校中14位でした。選手たちはもっと上の順位を目指していたと思いますが、6区間中4区間が1年生ということは、来年度も大いに期待が持てる、ということでもあると思います。

また、今回補欠やサポートメンバーとして選手を支える側になった者も、次こそは…とと思っている人もいることでしょう。当日学校へ戻ってきて先生方の作ってくれたカレーを食べながら、子ども達の口からは、すでに10月の総体駅伝の話が出てきていました。

今回駅伝メンバーに入れなかった者も、この挑戦が自分自身の力になっていることは間違いありません。この努力は必ず自分の競技の力になります。そして、この2カ月間、毎朝挑戦し続けた生徒達のエネルギーや、頑張ろうとする気持ちがかもし出す雰囲気为学校の勢いを作っていくのでしょうか。

「応援する人は、やがて応援される人になる。」と言われます。励まされた人は、励ますことの価値を自然に理解しています。今回駅伝に挑戦した70名の人達、応援の側だった人達は、やがて必ず応援してもらう番が来ます。それは、それぞれが自分自身に誇りを持ち、自分だけではなく、みんなで本気で取り組んだからこそ得られるものだと思います。今回、私たち教員チームも子ども達とともに走りましたが、そんな子ども達と同じ場所で同じ時間を過ごせたことを、心からうれしく思います。

燃えろ 船中魂

次は2月1日(土)に開催される女子駅伝競走大会です。応援よろしくお祈りします

運動公園内周回コースにこの

「のぼり」がたっています!